

阪神・淡路大震災の記憶を未来の防災へ

神戸で学ぶ 防災学習

いつ

どこで

どんな

碓山から見た神戸の街

●「聴いて」「視て」そして「備える」

神戸に暮らす私たちにとって、阪神・淡路大震災が発生した 1995 年 1 月 17 日は忘れることのできない日です。神戸市内だけでも 4,571 名の犠牲者、11 万棟余りの全壊・全焼した街の中で、避難所や仮設住宅での厳しい生活から、被災者自らが立ち上がり、被災した市民が被災者を助けながら、生活を再建し、今の神戸に再興しました。私たちは、震災を経験し、こんな備えをしておけば良かった、こんなケアをすれば良かった、そして今後はこんな備えが必要だということも多く学びました。これらの教訓を次世代に伝えるために、神戸の経験を聴いてもらい、視てもらい、そして、どんな災害に遭っても生き抜くための備えを学んでいただきます。



破壊された神戸市役所 2 号館

1995.1.17

●プログラム

- ▶プログラムは、ご希望内容、人数、時間に合わせ、打合せを行いながら決定します。
- ▶160人を超える受入の場合はご相談ください。

聴く 座学



●スライド学習

阪神・淡路大震災で神戸はどのような被害を受けたのか、避難所や仮設住宅でどんな助け合いがあったのか、そして、今後どのような備えをして被害を少なくするのかを、スライドや映像を交えて学びます。(45分～60分)



●再現実験

地震で起こる液状化現象や建物を強くする耐震補強の実験を模型を使ってわかりやすく再現します。(10分)

●震災遺構まち歩き

神戸港震災メモリアルパークや破壊された橋脚など地震のエネルギーを物語る遺構や、商店街に残されているメッセージレンガなど、復興を願った人々の想いを物語るモニュメントを見ながら、現在の神戸のまち（主にメリケンパークから神戸市役所南側の東遊園地までの範囲内）を歩きます。旧居留地や南京町などを含めた観光まち歩きも可能です。

(60分～90分)

見る まち歩き



備える 疑似体験

●災害対応ゲーム「クロスロード」

YES / NO の選択から、震災を疑似体験します。

あなたは・・・食料担当の職員。被災から数時間。避難所には3,000人が避難しているとの確かな情報が得られた。現時点で確保された食料は2,000食。以降の見通しは今のところなし。まず、2,000食を配る？

[出典：災害対応ゲームクロスロード（神戸編）]

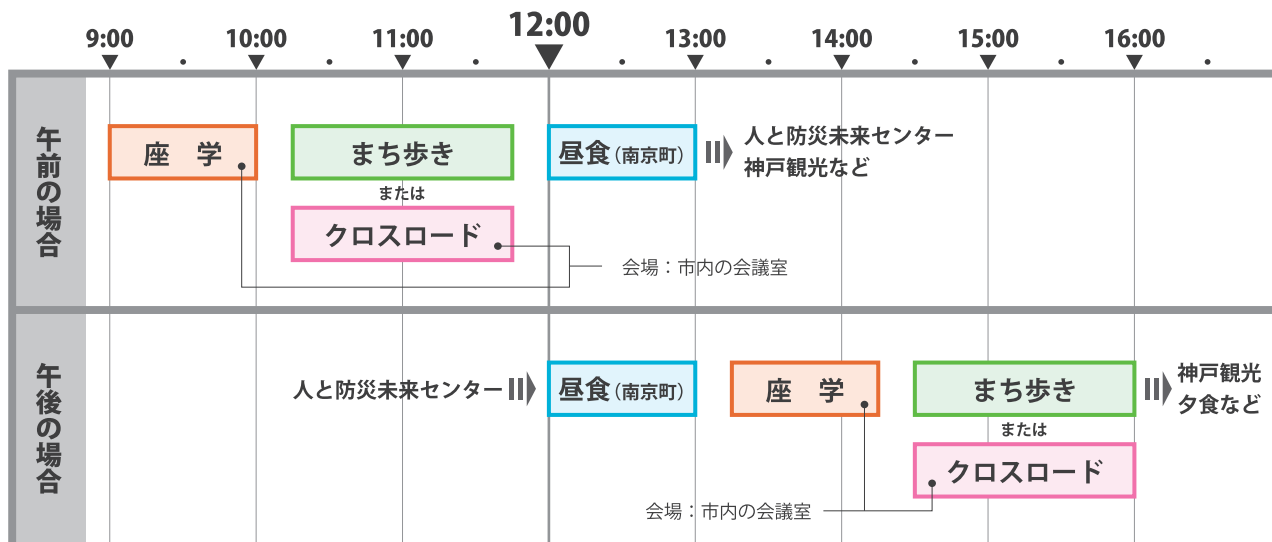
この問題にあなたはどのような選択をしますか？
災害が発生したときはジレンマを伴う決断の連続です。自分ならどのような選択をするかをカードゲームで考えます。少人数のグループに分かれ、それぞれ「YES」と「NO」のカードを1枚ずつ持ちます。問題に対してどちらかのカードを一齐に出し、その選択の理由を伝え合います。1つの正しい答えがあるわけではなく、他の人が「なぜ、そう考えたのか？」に耳を傾け、自分とは異なる意見があることに気づくことができます。

(60分～90分)



「クロスロード」は、チーム・クロスロードの著作物で、登録商標（登録番号4916923号）です。詳しくは、「防災ゲームで学ぶリスク・コミュニケーションクロスロードへの招待」（著者：矢守克也・吉川肇子・網代剛／ナカニシヤ出版）などを参照ください。

タイムスケジュール例



●まち歩きモデルコース

距離 約 2.0km
所要時間 約 90分



神戸港震災メモリアルパーク
震災で崩壊したメリケン波止場をそのままの状態で保存しています。神戸港の被災状況や復興の過程が分かる展示もあります。



旧神戸居留地十五番館
居留地当時の姿を留める重要文化財の木造建築が地震で全壊し、元の部材を使って復元しました。150年前の下水道も見られます。



高架道路の橋脚
大破し鉄筋が露出した高架道路の橋脚、大きく歪んだ橋桁の継ぎ目が保存され、地震のエネルギーの大きさが実感できます。



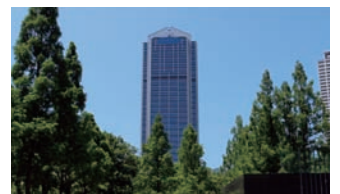
みなとのもり公園 (神戸震災復興記念公園)
市民主体で計画した復興記念公園で、防災公園になっています。



慰霊と復興のモニュメント
犠牲者の慰霊と市民への励ましを目的として、市民の寄付で設置されました。地下には犠牲者の銘板が並ぶ憩想空間があります。



1.17 希望の灯り
犠牲者の慰霊と鎮魂を願い、被災10市10町から市民が集めた種火で灯っています。東日本の被災地へも分灯しています。



神戸市役所展望ロビー
高さ約100mの展望ロビーから復興した神戸のまちが見渡せます。「1.17のつどい」は、毎年、眼下に見える東遊園地で行われています。



●出前学習

▶神戸港クルーズの船上や宿泊先に講師を派遣し、昼食や夕食前後の時間に、防災学習を行うことも可能です。

その他のまち歩きスポット

▶モデルコースにその他のスポットを加えることも可能です。



南京町
中華街。比較的被害が少なかったため、震災後、いち早く炊き出しを行い、被災者を応援しました。



旧居留地
被災した近代建築は外壁保存などで再建し、街並みを継承しています。



神戸港めぐり遊覧船
壊滅的な被害から2年で復旧した神戸港全体を概観できます。

© (一財)神戸国際観光コンベンション協会

© (一財)神戸国際観光コンベンション協会

© (一財)神戸国際観光コンベンション協会

●対象

▶修学旅行生（小学生・中学生・高校生）、大学生・ゼミ、研修・視察（自治体職員・教職員・社員・自治会など）

●料金

- ▶座学：講師1人 10,000円（生徒80人につき講師1人）
- ▶まち歩き：引率1人 5,000円（生徒20人につき引率1人）
- ▶クロスロード：講師1人 10,000円（生徒80人につき講師1人）
- ▶会場費：座学、クロスロードは市内の貸会議室を使用します。使用料をご負担下さい。予約は当方で行います。
- ▶出前学習：講師派遣料 20,000円、交通費（実費）

生徒80人で座学とまち歩きを行った場合

座学：講師1人 @10,000円 × 1人 = 10,000円
まち歩き：引率4人 @5,000円 × 4人 = 20,000円
合計 30,000円

●申込みから受入までの流れ

① 空き状況の確認

▶電話で空き状況をご確認ください。（080-2518-2236）

② 申込み用紙の提出

▶防災学習申込み用紙に必要事項を記入し、Eメールにてお送りください。
※神戸市防災技術者の会（K-TEC）のホームページからダウンロードできます。

③ プログラムの打合せ

▶申込み用紙の内容にもとづき、プログラム案を提示いたします。
プログラム案をもとに電話等で打合せを行い、プログラムを決定します。

④ 防災学習実施

▶到着までの連絡体制を確認し、防災学習を実施します。

●プログラムの打合せ、当日の運営は「神戸防災技術者の会（K-TEC）」が行います

神戸防災技術者の会（K-TEC）とは・・・

神戸市職員とOBで組織し、阪神・淡路大震災での市民の救援及び、まちの復興業務などで培われた経験や、復旧・復興に関する技術・制度を伝承し、また被災地の支援活動や防災・減災に関することを学び、安全・安心な地域・都市づくりに貢献することを目的としている団体です。

●神戸で学ぶ防災学習連携団体

阪神・淡路大震災の記憶と教訓を伝える活動は様々な団体・施設と連携し実施しています。

人と防災未来センター／神戸すまいまちづくり公社／ふたば学舎／
認定NPO法人まち・コミュニケーション／野田北ふるさとネット／
神戸クロスロード研究会

●申込み・問合せ先

神戸防災技術者の会（K-TEC）

〒654-0036 兵庫県神戸市須磨区南町2丁目1-24

HP：<http://www.k-tec117.org/>

TEL : 080-2518-2236（神戸防災技術者の会）

E-mail : tour@k-tec117.sakura.ne.jp